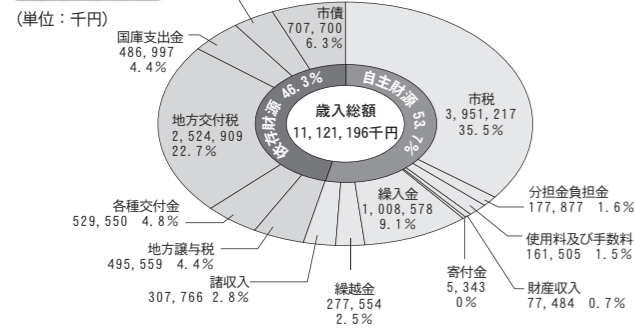


一般会計歳入決算の内容

(単位：千円)

区分	平成18年度 決算総額 (A) = (B)+(C)+(D)	本宮市 (H19. 1. 1 ~ 3. 31) (B)	本宮町 (H18. 4. 1 ~ 12. 31) (C)	白沢村 (H18. 4. 1 ~ 12. 31) (D)
自主財源	5,967,324	1,490,543	2,849,363	1,627,418
市税	3,951,217	1,109,225	2,121,412	720,580
分担金及び負担金	177,877	45,922	112,269	19,686
使用料及び手数料	161,505	38,862	84,673	37,970
財産収入	77,484	19,607	45,739	12,138
寄附金	5,343	494	1,969	2,880
繰入金	1,008,578	116,253	263,581	628,744
繰越金	277,554	0	85,676	191,878
諸収入	307,766	160,180	134,044	13,542
依存財源	5,153,872	1,898,697	1,589,300	1,665,875
地方譲与税	495,559	189,599	178,640	127,320
各種交付金	529,550	126,408	283,506	119,636
地方交付税	2,524,909	220,002	958,774	1,346,133
国庫支出金	486,997	399,761	63,253	23,983
県支出金	409,157	255,227	105,127	48,803
市債	707,700	707,700	0	0
歳入合計	11,121,196	3,389,240	4,438,663	3,293,293

歳入のグラフ



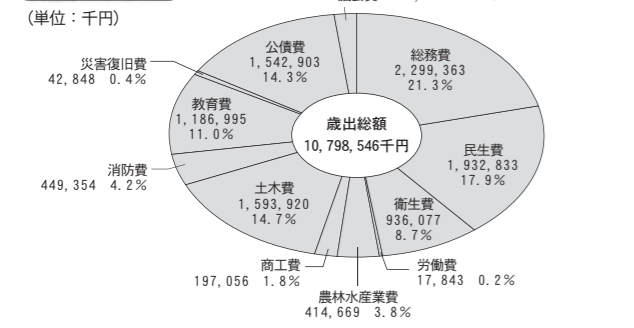
歳入総額 11億1,121万1,966千円のうち、53.7%が自主財源、46.3%が依存財源となつています。自主財源は地方自治体が自主的に収入できる財源で、地方税、分担金および負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金などがあります。依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付される財源で、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税などが該当します。

一般会計歳出(目的別)決算の内容

(単位：千円)

区分	平成18年度 決算総額 (A) = (B)+(C)+(D)	本宮市 (H19. 1. 1 ~ 3. 31) (B)	本宮町 (H18. 4. 1 ~ 12. 31) (C)	白沢村 (H18. 4. 1 ~ 12. 31) (D)
議会費	184,685	32,979	89,404	62,302
総務費	2,299,363	904,835	648,152	746,376
民生費	1,932,833	517,944	1,087,788	327,101
衛生費	936,077	89,802	415,391	430,884
労働費	17,843	6,911	10,906	26
農林水産業費	414,669	207,971	88,690	118,008
商工費	197,056	26,347	132,996	37,713
土木費	1,593,920	573,681	577,228	443,011
消防費	449,354	118,223	214,958	116,173
教育費	1,186,995	361,033	473,280	352,682
災害復旧費	42,848	34,822	0	8,026
公債費	1,542,903	834,044	364,608	344,251
諸支出金	0	0	0	0
歳出合計	10,798,546	3,708,592	4,103,401	2,986,553

歳出のグラフ



歳出総額の内訳を目的別にみると、決算額が多いものから、総務費2億2,993万6千円、民生費1億9,328万3千円、土木費1億5,939万2千円、公債費1億5,429万9千円、教育費1億1,870万9千円、消防費449万3千548円、労働費17万8千433円、農林水産業費414万6千669円、商工費197万5千560円、議会費184万6千850円、災害復旧費42万8千480円、衛生費936万7千77円となっています。今年度の決算は、電算システムの統合をはじめとする合併に伴う経費や、市政施行により新たに生活保護関連事務を行うことなど、旧両町村の前年度決算にはみられない経費の支出があったことが大きな特徴です。

平成18年度

# 決算報告



本宮市の平成18年度各会計の決算がまとまりましたので、お知らせします。平成18年度の決算につきましては、平成19年1月1日付で旧本宮町と旧白沢村が合併したことにより、通常の一年間を通じた決算とはなりません。しかし、1年を通じた収支をお知らせするため、旧両町村の平成18年4月1日から同年12月31日までの決算額と、本宮市の平成19年1月1日から同年3月31日までの決算額を合算したものを掲載いたしました。

## 決算の内容

合併後、はじめての決算  
本宮市・旧本宮町・旧白沢村の  
決算額を合算

平成18年度 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

区分	平成18年度 決算総額 (A) = (B)+(C)+(D)	本宮市 (H19. 1. 1 ~ 3. 31) (B)	本宮町 (H18. 4. 1 ~ 12. 31) (C)	白沢村 (H18. 4. 1 ~ 12. 31) (D)
歳入総額	11,121,196	4,031,242	4,438,663	3,293,293
歳出総額	10,798,546	3,708,592	4,103,401	2,986,553
歳入歳出差引額	322,650	△319,352	335,262	306,740
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0	0
実質収支	265,008	△319,352	335,262	306,740

※1 合併後の本宮市の歳入(40億3,124万2千円)には、旧両町村の余剰金となる歳入歳出差引額(6億4,200万2千円)が含まれていますので、この余剰金を差し引いた33億8,924万円が、新市の実質の歳入となります。

平成18年度本宮市一般会計決算規模は、上記のとおり、歳入11億2,119万6千円、歳出10億7,854万6千円となり、実質収支(「歳入歳出差引額」から翌年度に繰越すべき財源の繰越明許費繰越額を控除した額)2億6,500万8千円、黒字となりました。

※2 繰越明許費繰越額…平成18年度中に事業が完了しなかったため、平成19年度に持ち越しして行う事業に要する経費

平成18年度 特別会計決算の状況

(単位：千円)

会計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越額	実質収支
国民健康保険特別会計	3,116,220	2,852,808	0	263,412
事業勘定	3,001,437	2,740,887	0	260,550
直営診療施設勘定	114,783	111,921	0	2,862
老人健康保健特別会計	2,811,629	2,742,079	0	69,550
介護保険特別会計	1,403,105	1,361,038	2,536	39,531
保険事業勘定	1,400,682	1,358,839	2,536	39,307
サービス事業勘定	2,423	2,199	0	224
公共下水道事業特別会計	906,689	886,350	0	20,339
農業集落排水事業特別会計	52,921	49,470	0	3,451
工業用地造成事業特別会計	658,796	656,607	0	2,189
住宅団地造成事業特別会計	12,191	10,729	0	1,462
合計	8,961,551	8,559,081	2,536	399,934

平成18年度 企業会計(水道事業)決算の状況

損益勘定(経常的な収支)		資本勘定(投資的な収支)	
収入	11億2,691万7千円	収入	1億4,739万9千円
支出	9億1,466万3千円	支出	9億9,701万円